

環境通信 第18号 (9月号)



令和4年9月発行(年4回発行)・発行元:大分市環境対策課・地球温暖化対策おいた市民会議

みらいさん

…環境問題に関心がある社会人

アスマるくん

…大分市地球温暖化防止キャラクター
「地球(アース)の明日(あす)をまもる」ため、
大分市にやってきた。環境問題や地球温暖化対策にくわしい

地球温暖化対策講座を開催します!

令和4年度地球温暖化対策講座

開催日時 11月5日(土) 午前10時~11時30分
午前9時30分~受付

開催場所 大分市本庁舎8階大会議室
託児室あり(※事前申込をした方のみ利用可能)

開催内容 講義1「地球温暖化と食品ロスについて」
講師:溝部 敏勝(地球温暖化防止コミュニケーター、市民会議委員)

講義2「私達に必要な樹木の力~緑を活かしてCO₂を削減しよう~」
講師:柿本 雅子(樹木医、市民会議委員)

ワークショップ 縫わないTシャツエコバッグの作成
着られなくなった思い出の詰まったTシャツなどを
エコバッグにリメイクし、大切な人にプレゼントしてみませんか?

申込方法 電話またはファックス、Eメールで、参加者の氏名、代表者の住所・
電話番号、講座名を記載し、大分市環境対策課までお申し込みください。

申込先 大分市環境対策課
〒870-8504 大分市荷揚町2番31号
電話 097-537-5758
メール kankyotai5@city.oita.oita.jp

参加申込QRコード



申込締切 10月25日(火)

私たちが生活の中で取り組める地球温暖化対策をご紹介します。
是非、家族の皆さんでご参加ください。お待ちしております!



アスマるくん

「令和4年度地球温暖化対策講座」の内容についてご紹介します!

講義1「地球温暖化と食品ロスについて」

地球温暖化現象と食品ロスの関係性についてお話しします。
講義を通じ、今日から取り組める食品ロス削減のコツも学ぶことができます。

【アスマるくんメモ、イベント紹介】

10月は「食品ロス削減月間」、10月30日は「食品ロス削減の日」です。

期間中、大分市では市内小売店と連携し、食品ロスの削減に向けた取り組みとして「3きり運動」や「食品ロスダイアリー」の普及・啓発活動を集中的に行います。

●「1週間チャレンジ!食品ロスダイアリー」の普及・啓発活動

日時	場所
10月1日(土曜日) 午前10時30分~午後0時30分	サンリブわさだ
10月2日(日曜日) 午前10時30分~午後0時30分	トキハインダストリーあけのアクロスタウン

内容

市職員が、来店する方に「1週間チャレンジ!食品ロスダイアリー」などを同封した市オリジナル布製エコバッグを配布します。

また、「食品ロスダイアリー」の取り組み後にアンケート用紙を提出した方40人(応募多数の場合は抽選)に市オリジナルデザインのトートバッグを進呈します。
詳しくは、市ホームページをご確認ください。

●「食品ロス削減の日」の普及・啓発活動

日時	場所
10月28日(金曜日) 午前7時45分~8時30分	大分駅府内中央口広場
10月30日(日曜日) 午前10時30分~11時30分	トキハインダストリー 春日浦店、 コープおいた下郡
10月30日(日曜日) 午後2時~3時	イオンパークプレイス大分店、 トキハインダストリーアムス大在店

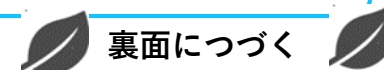
内容

市職員が、通勤途中の方や小売店(スーパー)に来店する方に、市オリジナル布製エコバッグや啓発物品を配布します。

講義2「私達に必要な樹木の力~緑を活かしてCO₂を削減しよう~」

樹木との共生と地球温暖化防止の関係についてお話しします。
樹木がもつ不思議な力や街路樹が直面している問題を知ること、
樹木や自然との共生について考え直すきっかけになればと思います。

裏面では、講義2を担当する柿本委員から、「草木でつくるリース」
の作り方を紹介します!



秋！草木でつくるリース

夏が終わり、地域の木々や草花に日々変化が見られる時期になりました。草木の新芽や新緑がわき上がる春や、葉や花が姿を消し木の幹自体の存在感が際立つ冬とは異なる植物の楽しみ方ができる季節です。私たちの身近にある自然を探索して、「小さい秋」を見つけてみませんか？そして、自然の一部をリースにして生活空間の中に取り入れてみませんか？

今回は、地球温暖化おおい市民会議委員であり、大分県初の女性樹木医の一人として活躍されている柿本委員に、「草木を使ったリース」の作成についてご紹介いただきたいと思います。



みらいさん

まずは、「リースの土台」の作り方について教えてください！

「リースの土台」は、身近な植物で作ることができます。例えば、夏休みに育てた「アサガオ」のツル、道路脇によく生えている「クズ（葛）」のツル、「サツマイモ」のツルなども使えます。

それらを丸くなるようにグルグルと互いに巻きつけるだけで、ドーナツ型の土台が出来上がります。ひももワイヤーもいりません。飾りつけのない、土台だけでも立派なリースになりますよ。あとは、自由に飾るだけです。

柿本委員

リースの土台を作る時に特別な道具はいらないのですね。シンプルなリースは、自然の中で作り上げられたツルの形や、その力強さが楽しくて良いですね！！

リースに飾りをつけたいときは、どのようなものがおすすめですか？



みらいさん

「リースのかざり」には、ヒノキやコニファー、ユーカリの枝葉などがあれば緑が豊かなリースになります。ラベンダーなどのハーブを取り入れれば、香りも楽しめます。松ぼっくり、アメリカフウの葉、プラタナスの実、ねこじゃらしの穂など、自然の中にはかわいいモチーフをあちこちに見つけることができます。いつものお散歩が一層楽しくなりますよ！

柿本委員が作成したリース

土台：「クズ（葛）」のツル
飾り：ネコジャラシの穂、プラタナスの実、松ぼっくり、台湾フウの実、アイビーの葉



土台：「藤」と「ヤブカラシ」のツル
飾り：履かなくなった靴下をボール状に丸めたもの、使用済みのストローに商品に包装に使われていたリボンや麻ひもを巻きつけたもの、松ぼっくり、コニファー

土台：「琉球アサガオ」のツル
飾り：頂いたプレゼントに使われていたリボンやひも、使い終わったケミカルライトの釣り具

使わなくなった色々なものを再利用して、「リースのかざり」を作ることのできるのですね！

みらいさん

使用済みのストローや使い終わった文房具、遊ばなくなったおもちゃなどをアレンジして使ってみるのも面白いですよ。今まで、「不要になったもの・ごみ」と思っていたものでも、「材料として意識する」ことで見方が変わってきますよ。

多くのごみを燃やすことは、地球温暖化に繋がってしまいますよね。「これ、何かに使えないかな？」と捨てる一歩手前で考えてみると、ごみのごみでなくなることもあります。「捨てればごみ、活かせば資源」を実践しています。

柿本委員

柿本委員からのメッセージ

私たち地上全ての生き物は、植物が作り出す酸素や食べ物を通して得られるエネルギーによって生かされています。

ですが、普段の生活の中ではそのことをなかなか意識できません。リース作りを通して、植物から得られる恵みや、リサイクルについて考えるきっかけにしてもらえたらと思います。

また、リースの飾りに自然の素材を取り入れることで生まれる風合いは、グリーンの香りとも相まって、安らぎや落ち着きを与えてくれます。それは、現代人にとって大事なものです。

リースを作ることで植物に興味を持っていただけたら、お庭やベランダにコニファーやドライフラワーに適した植物（ラベンダー、千日紅、ケイトウなど）を育ててみませんか。皆さん一人一人の緑化推進の積み重ねが地球環境を整える大きな力になります。



ヒノキ

コニファー

ユーカリ

アメリカフウの葉

プラタナスの実